

さいおんじ

西園寺

武蔵野・生活者ネットワーク 西園寺みきこの活動を紹介いたします。

みきこ

武蔵野・生活者ネットワーク 市議会議員

プロフィール

■1958 福島市生まれ ■1981 東北
大学理学部生物学科卒 ■製薬会社研
究員、福島県立平商業など3校で理科
を教える ■2000 武蔵野市に転居
■2002 ごみ減量の市民団体に参加
■2004 東京農工大学大学院修士課
程修了（農学修士）■2006 武蔵野市
第四期長期計画調整計画市民委員
（緑・環境・市民生活）■2011 武蔵
野市市議会議員に初当選。4 常任委員
会、建設委員会副委員長、決算特別
委員会副委員長、広報委員会、農業委員
会、都市計画審議会委員などを歴任。

レポート

<http://saionji.seikatsusha.me/> <https://twitter.com/saionjimikiko>
<https://www.facebook.com/mikiko.saionji>

○表面から見えない「大事なこと」に光をあてていきます。

地域を回っていて、あれ？この一角はあ
ったかい感じがする、なぜ？ と感じるこ
とがあります。よく見ると近隣の方同士が
さりげなくあいさつを交わしている。表面
から見えないけれど、気持ちのつながりが
しっかりとあることがわかります。

子どもたちや生きにくさを抱えた方たち
の困難も、表面からすぐには見えません。
数十年前のように衣類の汚れや、やせた体
から一目見てわかるわけではない。だから
こそ、想像力を働かせ、必要な支援が必要
な人に届くしくみを探していかなければなら
ないのです。

私の武蔵野市での活動の原点は「ごみと
環境」「市民参加・参画」です。市民一人
ひとりが正しい知識を持ち、考え、ともに
まちづくりに参加する。異なる立場の方の

意見を尊重しながら、よりよい方向を目指
ることが必要です。次の4年間で、市民参加
のまちづくりを一層進めてまいります。そ
のチャンスを与えて下さい。

サン・テグジュペリの「星の王子さま」
にある一節「心で見なくちゃ、ものごとは
よく見えないってことさ。かんじんなこと
は、目に見えないんだよ」は、私の心にず
っと刻まれている言葉です。穏やかに見え
る日常生活の中にも、さまざまな困難がひ
そんでいきます。それらに光をあて、見える
ようにしていくのが、私の議員活動の基本
です。

日々の活動の中で、出会えた多くの方々
への感謝の気持ちを忘れず、精進してまい
ります。

○まちの応援団

私たちも応援しています。

- | | |
|--------|-------|
| 秋山美智子 | 澄川多加子 |
| 安達直子 | 平良子 |
| 天野日佐恵 | 佃昭子 |
| 五十嵐栄子 | 西本洋美 |
| 井口雅枝 | 西村まり |
| 岩城末子 | 野崎斐子 |
| 今木仁恵 | 畑中良夫 |
| 大島登志子 | 福元加代子 |
| 小野文子 | 藤井美里 |
| 小野塚洋子 | 古谷由美子 |
| 河田鐵雄 | 星伸子 |
| 清本和子 | 前田美和子 |
| 久保田美愛子 | 山田加代子 |
| 小出律子 | 山田清 |
| 古林和佳子 | 南泉 |
| 五郎丸聖子 | 森田淳子 |
| 斉藤枝里子 | 芳沢啓子 |
| 白石ケイ子 | 吉田由美子 |
| 新川俊子 | 渡部直子 |
| 砂川直美 | |

西園寺 みきこ さんを

応援 します



大河原 雅子

前参議院議員

あらゆる分野に格差が拡
がり、少子高齢・人口減少・
低成長時代の地域の課題
は複雑で多様です。自治

体の具体的な取り組みが重要であり、政策
決定の場である議会には地域をよく知る女
性議員が必要不可欠です。多様な課題に
当事者の視点で向き合い解決をはかる信
頼の生活者政治を西園寺さんと共にすす
めましょう。



竹村 英明

脱原発政治連盟

「緑茶会」代表

統一地方選は羅針盤の
壊れた日本の政治を変え
る第一幕。脱原発は平和、
安全、格差、経済、すべてにつながるキ
ーワード。生活者の目線に立った政策が、
必ず政治の地殻変動を引き起こすのでし
ょう。「地方の政治」から日本を建て直して
行くために、生活者ネットの力は不可欠で
す。大躍進を信じ、応援します！

邑上 守正

武蔵野市長

砂川 なおみ

前武蔵野市議会議員

古林 わか子

元武蔵野市議会議員

土屋 雅美

生活クラブ生活協同組合理事長

市民の声を反映させるまち、 武蔵野を目指します。

生活者
ネットワーク
とは？

生活者ネットワークは、市民の政治参加を支えるための仕組みとして市民自身が作り上げた地域政党（ローカルパーティー）です。現在都内34の自治体で活動し、3人の都議会議員と52人の市・区議会議員を議会に送り出しています。

西園寺みきこの提案

農のあるまちづくり

○生ごみと落ち葉を資源化します。土の働きと物質循環を子どもたちが学ぶ環境教育を進めます。市民農園・学校農園で、元気野菜づくりを応援します。

○コミュニティガーデンを通じて地域のつながり・世代間のつながりを広げます。障がいのある方ない方も共に喜びを分かち合える場とします。

○都市農地を守ります。心がこもった地元野菜を給食やイベントで活かします。

○緑を増やし、地下水を大事に。雨水利活用を進め、30年後に井の頭池の湧水復活を目指します。



春はもつすぐー武蔵野駅にて

若者・高齢者・あらゆる人の尊厳を守る。

○義務教育後の若い世代の居場所づくりと、支援を進めます。

○経済的な困難、親や祖父母の介護のために学業を続けられない（ヤングケアラー）、性同一性障害などで生きづらさを抱えている子どもたちへの配慮や見守り、学習支援・生活支援を進めます。

○福祉の専門職SSW（スクールソーシャルワーカー）を拡充し、地域のつながりを強めます。

○若者を使い捨てにしない社会へ。子どもを被害者にも加害者にもしない社会へ。声を上げていきます。

○テンミリオンハウスを広く誰でも使える居場所に。市内約40か所の「居場所」事業を支援します。

子ども・教育

○学校給食の内容、食育、食文化の継承などにこだわっていきます。

○食育に有意義な「自校式」給食調理場を実現させます。

○今後予定される学校施設の再整備に向けて、地域と市民が構想段階から参画できるしくみを提案します。災害時の拠点や、子育て支援・高齢者の居場所・コミュニティづくりなどの機能を備えた多機能化を市民参加で実現させます。

市民に役立つ議会

○議会・議員活動をもっと身近なものに。議会によるタウンミーティングを実現させます。

○議会・議員の責務を明確化するため、議会基本条例の制定を目指します。

自分たちのまちは自分たちでつくる。

○地域の課題に取り組む自覚を育てる教育を進めます。

○ふるさとの歴史を共有するため、古くからお住まいの方も新しく引っ越して来られた方も、共に学ぶ「大人の学校」(注：既に『水の学校』が実現)を、福祉・防災・環境・コミュニティなどのテーマで実現させます。

○税金の使い道を学ぶ「市民がつくる財政白書」(注：既に2冊発行済み)づくりを進めます。

○より多くの市民の声が反映されるための無作為抽出ワークショップをさらに充実させます。

ごみ・環境・エネルギー

○ごみは燃やさない。ごみ処理経費を減らすため、収集頻度の見直しを提案します。

○公共施設での再生可能エネルギーの導入、省エネ創エネを進めます。「まちなか発電」を支援します。

○2016年からの一般家庭での電力自由化に向けて、啓発事業を提案します。

子育て・ワークライフバランス・住まい

○少子高齢化の時代に向けて、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。

○イベント・学習会などで託児付きを増やし、子育て中の市民の意見が反映されるまちを作ります。

○空き家の活用を進め、子育て世代への支援、コミュニティづくりなど総合的に活かします。

平和を築く

○地域に住む外国籍の方やそのご家族が、安心して暮らせる多文化共生のまちを作ります。

○国際交流・平和交流を進めます。異文化を互いに学び、尊重し合う。国際社会から信頼される若者を育てます。

地域を大事に

○生活者ネットワークは、地域で暮らす普通の市民の意見、声をあげにくい方たちの意見を、市政に反映させることにこだわっていきます。

○まちの担い手であるたくさんの方への感謝を忘れずに、ここ武蔵野のまちで助け合い、支え合って暮らしていきます。



昨年8月、福島原発告訴団の東電本社前参りに参加。首都圏から四百人近い参加が実現